

中期事業計画（2013年度～2015年度）

1. 清算機関としての機能強化

(1) リスク管理の高度化

- ・ 「金融市場インフラのための原則」など、清算機関に関する国際的な基準強化の動きを踏まえ、担保制度の改善や清算参加者の破綻に備えた財務資源の拡充など、リスク管理機能の高度化を図る。

(2) 決済期間短縮に向けた対応

- ・ 国債取引の決済期間短縮（アウトライト取引（T+1）、GCレポ取引（T+0））の実現に向け、清算機関としての役割を踏まえて積極的な提言を行い、制度面・システム面での具体的な検討を推進する。

(3) 利用拡大

- ・ 資産管理専門信託銀行の参加の実現（2014年前半予定）など、当社の利用拡大を図り、国債取引における効率性の向上及び決済リスクの削減を目指す。

2. 事業基盤の強化

(1) ガバナンス

- ・ 清算機関としてのガバナンスについて、国際的な議論も視野に入れた見直しの検討を行い、経営体制・リスク管理体制の強化を図る。
- ・ 積極的な情報開示により経営の透明性を高める。

(2) システム基盤

- ・ より頑健なシステムインフラの構築により、システムの信頼性を確保するとともに、システムの柔軟性を高めて円滑なサービスの提供を図る。
- ・ 新日銀ネットへの対応、リスク管理の高度化への対応等の大規模システム開発プロジェクトを着実に推進する。

(3) 組織運営

- ・ 市場関係者との協働・連携により、金融・資本市場の制度整備に向けた取組みを推進する。
- ・ 清算機関としての安定的な決済保証機能を提供するため、財務面での基盤強化を図る。
- ・ 事業運営基盤のより一層の強化と市場の効率性向上を図る観点から、日本証券クリアリング機構との合併を実現させる。